

# 3,000 wind turbines in Hokkaido?

## シンポジウム

### 「私たちの北海道を “再エネ植民地”に させないために」

～大規模風力発電「3,000基建設計画」の衝撃～

2022年11月23日(水・祝)  
13:20～16:40(開場:13:00)  
札幌エルプラザ4階大研修室  
資料代:500円

共催:北海道風力発電問題ネットワーク  
一般社団法人 北海道自然保護協会

後援:全国再エネ問題連絡会 公益財団法人 日本野鳥の会札幌支部 石狩湾洋上風車建設反対道民連絡会





現在、北海道では3,000基を超える大型風力発電の建設計画が進んでいます。これは日本で稼働している風力発電の2,574基を上回る数字です。風力発電は「CO<sub>2</sub>削減」、「脱炭素化社会」の切り札といわれる一方、大規模な開発行為に伴う自然環境破壊、景観への影響、低周波音による健康被害、そしてそれらを公正に評価・予測し、地域住民の暮らしを守るための制度が不十分であることなど、様々なマイナスの側面があります。しかし、それらが市民に知られることはほとんどありません。

このシンポジウムでは、北海道の豊かな自然と景観、北海道の基幹産業（農林水産業・観光業）と地域住民の安心・安全な暮らしを守るという観点から、北海道における風力発電の現状と問題点を提示し、私たちに出来ることはなにか、共に考えたいと思います。どうぞご参加いただきますようお願い致します。

## 1 シンポジウム開催にあたって

在田一則（一般社団法人 北海道自然保護協会会長）

## 2 道内各地からの現状報告

風力発電の真実を知る会（稚内市）

酪農家（豊富町）

石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会

風力発電を考える当別町民の会

小樽余市の巨大風力発電から自然と生活を守る会

常呂風発について考える会

大滝そよ風の会

## 3 専門家による解説・問題提起

若松伸彦氏（公益財団法人日本自然保護協会 オンライン参加）

「全国アセスデータからの陸上風力発電計画による自然環境への影響」

田鎖順太氏（北海道大学大学院助教）

「風車騒音による健康影響について」

白木彩子氏（東京農業大学准教授 オンライン参加）

「バードストライクなど野鳥に関すること」

## 4 総合討論

質疑応答・意見交換

■シンポジウムはZoomによる参加も可能です。11月20日（日）までに「シンポジウムZoom参加希望」・「氏名」・「メールアドレス」を記載の上、下記アドレスまでメールでお申込みください。

北海道風力発電問題ネットワーク [hokkaido.huryokunet@gmail.com](mailto:hokkaido.huryokunet@gmail.com)

■シンポジウム開催にあたりご寄付を募っております。下記の口座までご支援を賜りますようお願い申し上げます。

北海道銀行 花川支店 普通預金 口座番号:0997560

なまえ: ホツカイドウフウリヨクハツデンモンダイネットワーク

（問合せ）北海道風力発電問題ネットワーク 佐々木 090-2814-4953 / 安田 090-6211-1602 / 平山 090-3437-3771